

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。

# はいさい

沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲



## 365日リハビリテーション

これまでリハビリスタッフは医療職でありながら、日曜日が休みでした。患者様サービス向上の取り組みの一つとして、今年7月からこれまでの土曜日・祝祭日に加えて日曜日勤務を開始しました。

たとえば、脳卒中ガイドラインでは「発症から24時間以内にリハビリを開始した方が予後がよい」とされており、休みなく毎日リハビリを行うメリットが多いと感じています。

また、2010年度の全日本民医連回復期病棟の調査結果では、57事業所中、土曜日勤務が98%、祝祭日が89%、日曜日が49%と毎年徐々に増加しています。また、全国的にも急性期病院における365日リハビリが注目されてきています。

これからも「いつでも だれもが 安心して受けられる良い医療を」という理念のもとに、「365日リハビリ体制」の強化に向けて頑張っていきたいと思えます。

リハビリテーション室 當山浩三

## 2011年の当院のできごと

- 1月 各地で新春のつどい
- 3月 病院機能評価受審  
東日本大震災に支援開始  
3/14～5/11まで第8陣
- 4月 新年度 新入職者59名
- 5月 病院機能評価(Ver.6.0)更新認定受ける  
地域連携懇話会が開催される
- 6月 事務長交代  
上原昌義医師医療生協理事長に就任
- 7月 皮膚科医師2人体制に  
365日リハビリテーション開始  
心療内科震災支援に 7/18～7/23
- 8月 外来心臓リハビリテーション開始
- 9月 血管撮影装置2号機稼働開始
- 10月 無料低額診療1年目  
リウマチ患者会30周年記念祝賀会
- 11月 『脳卒中内科』、『病理診断科』を新しく標榜



新入職員歓迎セレモニー(4月)



病院機能評価(5月)



地域連携懇話会(5月)

## 横矢医師の入職あいさつ



この度、沖縄でお仕事をさせていただくご縁を頂きました。

前任は高知県(出身地です)の高知医療生活協同組合にて内科循環器科、診療所所長をいたしておりました。実は、沖縄医療生協設立から第3番目の内地人医師として勤務していました。10年ぶりに戻った協同病院はきれいになったばかりでなく、医師・スタッフの技術も力量も大きく前進したと感じます。

多くの科、部署、スタッフが走り回っていますが、連携プレイの要となる内科を力強く応援できるように頑張っていきたいと思えます。

内科 横矢隆宏

## 病院の活動状況

<10月度>

- ・外来一日平均患者数: 737人 前年同月比+11人
- ・入院一日平均患者数: 261人 前年同月比-10人
- ・組合員利用率: 54.3%(前月比+0.1%)



画:内科医 上原和博

## 食物アレルギー②

ひびき

小児科



ピーナッツと  
ジーマミー豆腐と  
イナムドウチ

ある日、ジーマミー豆腐を食べてひどいアレルギー症状を起こした子を経験しました。沖縄に来たころは、「ジーマミー?」な僕でしたが、病院で働き始めるころには、ジーマミー豆腐はピーナッツから作られている、という事は知っていたので、「ああ、ピーナッツアレルギーなんだな」と分かりました。ピーナッツに関しては「詰まらせると大変」とか「アレルギーが多い」とか知っている人も、なぜかジーマミー豆腐には無防備で、結構小さい子にもあげていたりします。恐るべき、しかし愛すべき「ジーマミー豆腐」。ところで、呼び方は「ジーマミー」「ジーマーミ」「ジーマーミー」どれが一般的なのでしょう?

さて、沖縄では「イナムドウチ(イナムルチ?)」なる郷土料理がありますが、これにもピーナッツが含まれることが多いようです。沖縄に来た当初、定食屋に「イナムドウチ」と書いてあるのを見て、ご飯なのか、麺なのか、汁ものなのか肉なのか魚なのか、皆目見当もつきませんでした。はたして食べ物かどうかも分からず、結局自分で注文することはないまま学生時代は過ぎました(笑)。

うちなーんちゅはピーナッツバターを好きな人が多いのでしょうか、小さなスプーンでも純度の高いピーナッツバターが置いてあります。内地では、純度の高いピーナッツバターは小さなスプーンでは手に入らないことが多いので、見かけた時は感動しました。しかし、アレルギーという点からみると、純度の高いピーナッツバターはより多くのピーナッツたん白を含んでいるので要注意です。沖縄で実際、お皿に残ったわずかなピーナッツバターを舐めてアナフィラキシー(急性の重いアレルギー)を起こした子も経験しました。小さな子の食物アレルギーで多いのは卵、牛乳の順ですが、アメリカで食物アレルギーで亡くなる方の原因No.1は圧倒的にピーナッツなのです。まぶやー、まぶやー。

小児科 尾辻健太

リウマチ患者会  
のぞみの会

# 30周年記念祝賀会

## のぞみ

のぞみの会結成三十周年記念誌  
1980年～2010年



沖縄協同病院のぞみの会

去った10月29日にロイヤルオリオンホテルで、30周年記念祝賀会が開催されました。患者様、ご家族、職員、ボランティアを含め総勢80人余りの参加がありました。

30年前、関節の痛みと体調不良の原因がわからないまま病院や医院を転々とし、やっと当院にたどり着き原国先生と出会い、リウマチと診断、治療が開始され現在に至っている患者様がたくさんいました。

この間に行われた勉強会や体験交流会、新年会そしてピクニック、1泊旅行での楽しい思い出がDVDで紹介されました。30周年記念誌も発行され、思い出が詰まったものになりました。

患者会は節目を迎え終了することになりましたが、患者会を惜しむ声がたくさん聞かれました。これからの患者様の学習する場の必要性を痛感しています。

患者会は節目を迎え終了することになりましたが、患者会を惜しむ声がたくさん聞かれました。これからの患者様の学習する場の必要性を痛感しています。

外来看護師 屋良和子



糖尿病患者会  
かりゆし会

# 伊是名島 一泊旅行 行ってきました



糖尿病患者会かりゆし会は、11月12・13日の日程でやんばる・伊是名島へ行ってきました。会員10名・職員5名の15名が参加しました。

バスに乗り込み、会員さんの司会で歌を歌いながらの楽しい移動、「ボケない小唄」の、歌詞が面白くて噴出してしまいました。名護でグラウンドゴルフを楽しみ。わるみ大橋へ、県内で1番高い橋で、古宇利大橋・羽地内海もみわたせ、ながめが最高にきれいでした。伊是名島まではフェリーに乗り1時間で到着。夜の交流会では、自己紹介・フットケアの学習会、カラオケで交流を深めました。

2日目は、伊是名島めぐり尚円王の誕生地伊是名島をガイドの案内でまわりました。琉球・沖縄の歴史を改めて勉強したい気持ちになりました。

今回は、1時間の船旅でしたが、無事に終わることができホッとしました。

\*12月10日(土)12時から お正月料理試食会があります。

会員以外の方で勉強したい方も、どうぞご参加ください。

かりゆし会事務局 外来 金城清美

## 新師長の紹介

5階師長 新里 康



9月1日より5階病棟の師長を務めています新里 康です。

5階病棟は、一般外科、脳神経外科、脳卒中内科、SCU、リハビリテーション科からなり、手術の多い病棟です。

その中で、医師、病棟スタッフ、MSW、他部署の職員と連携しながら、患者様へ安心、安全な医療が提供できるよう心がけていきます。

「はいさい」ご覧の皆様、これからもよろしくお願いたします。



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

### ご意見・ご要望

先週も受診しました。1Fの会計で担当の方の態度がとても悪く残念だと思いました。お年寄りへの対応がとても冷たく不親切でした。声掛けも表情も不親切なものでした。病院の顔である受付の方がそのような対応では、ダメだと思いました。今日は、つきそいで眼科受診しました。今日の2Fの会計の方、男性と女性の2人とも素晴らしかったです。声掛け対応とも、とても気持ちよくみていて安心できました。このような方たちばかりだと最高だと思います。ぜひ、職員全体でレベルUPしてほしいです。親切、丁寧な協同病院にまた戻ってほしいです。

11月21日 10時ごろ 内科、眼科受診

### ご返事

会計窓口にて不愉快な思いをさせて申し訳ありません。部署内でも常に接遇に気をつけるよう指導しておりますが、まだまだ不十分だと認識しています。病院の顔でもある受付会計職員に改めて自覚を持ってもらうよう、今後更なる職員教育に努めて改善をはかりたいと思います。行き届かないことがありましたら、その際にご遠慮なく声をおかけ下さい。

医事課 田里雅樹

## 年末年始外来休診のお知らせ

12/29(木)午後～1/3(火)まで外来は休診となります  
救急は終日受付けております



## おきなわの自然

### がじゅまる①

小学校の頃までは実家の周りは小高くなっており、そこにはぐりりと樹齢一〇〇年以上にもなる「がじゅまる」の樹が十本ほど植えられていた。現在は一本残るのみとなったが、この木を見るたびに、ターザンごっこをしたり、適当な板を捜してきてツリーハウスを造ったりしたのを思い出す。がじゅまるの枝はよくしなっており、折れにくい。足を滑らせて何度も落ちて血を流した。親に言うとな怒られるのでみんなだまっていた。今、幼馴染の頭を坊主にしたら、カンパチだらけだと思っ。

そのころの実家では、キジムナーにもよくウサーリタ(抑えられた)。縁側で昼寝をしていて目をさますと意識はあるが全身が硬直して動かない。天井の穴も数えられるし、台所で母が料理している音も聞こえる。しかし、「助けて」と叫ぼうにも首も動かないし、声も出ないのである。最初はとても恐怖だったが、何度も経験すると「また眠って起きれば元に戻っているさ」と思い、また眠る。そして次起きた時に母に言うのである。「ナマ キジムナーカイ ウサーリタンドー」とすると母はすぐ行動を起こす。クギとカナツチを持ってがじゅまるの樹の所に行き、その樹にクギを打ち付けるのである。キジムナーはがじゅまるに限らず、大きな古木に住むと言われている。クギを打ち付けるのは出てこないようにするためである。しかし、その効果はなく、何度も出てくるのでがじゅまるの樹はクギだらけになっていた。

さて、思い出から覚めて現在に目を向けると、高江へリパッド建設、辺野古新基地建設、TPP参加、消費税増税、年金七〇歳支給問題等、クギを打ち付けたい問題が目白押しである。キジムナーを信じていた頃がとても懐かしい。



とよみ生協病院  
総務課 金城稲子